



奉仕の声にこたえよう

ライオンズクラブ国際協会

1984-85

333-C 地区ニュース

愛の心で価値ある奉仕

1985

No. 4



主な内容

吾ら今何を為すべきかと一つの提言.....	L 榎 智光	②
ライオネスクラブ合同例会.....		③
アイバンク設立に向って 早くも献眼を呼びかけ.....		④
アイバンク協会設立へ向けて.....	L 青野虎二	④
アイバンクへ25万円を寄贈.....		⑤
アイバンク講演会.....		⑥
合同アクト特別委員会報告.....	L 吉野正三	⑥
クリスマスに大久保学園慰問.....	L 萩原 嶽	⑦
32チームが参加 戯末チャリティーゲートボール大会.....		⑧

図書をプレゼント.....	⑧	
日伯友好文化交流.....	⑨	
多古ライオンズ旗争奪中学校駅伝.....	⑨	
少年・少女発明クラブに研究製作活動資金(機械購入費)を贈る.....	⑩	
ライオンズサンタ各地に現わる.....	⑪	
彼らは何を訴えたか 第4回千葉県高等学校弁論大会.....	⑫	
第4Rテーブルツイスター(TT)研修会.....	L 林 寛躬	⑬
おめでとう 若獅子(坂本L)初の二世元旦に誕生.....		⑬
青少年212人が戦う 第4回・新春武道大会.....		⑭



奉仕の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕

吾ら今何を為すべきか

と 一つの提言

333-C 地区名誉顧問
元地区ガバナー(1972~73)

上 榎 智 光

「“吾ら今何をなすべきか？” ライオンズ会員として、また、ライオンズクラブとして、今、社会奉仕（アクティビティ）は何を取り上げ、何をなすべきか、或るいはクラブ員全体会議（例会等）であるといえる。ものか、を語り合い、討論し合う思考集団はクラブの企画委員会、能力開発委員会などの委員会であり、或るいはクラブ員全体会議（例会等）であるといえる。常に自らの居住地、或いは営業地域の状況の変化は勿論のこと、新聞、TV等で世界の動向、異変、事変等にも注意深くなければならぬと考えられる。その中にライオンズクラブとしてふさわしい ACT の対象があるかも知れない。クラブは常に若々しく、弾力のある思考力と行動力をもちたいものである。」

みどりこそ（吾らが）命!! は約12年前に今の333-A、B、Cの複合地区が一つであった302E7地区（新潟、群馬、栃木、茨城、千葉の5県）であった頃（1972~73）C.A.Bをお預りした当時、皆さんに相談して決定し、実施にうつしたのがこの“緑こそ吾らが命”（環境衛生）であった。これがその一年間を支配した行動=ACTの原点となった。E-1地区の会員約1万名のご協力により成功し得たように記憶している。またみどり（若木）は青年である。青少年問題にも重点を置いた年であった。加えて、韓国309-D地区（総裁 権 東七L）と歴史を乗り越えて姉妹締結をし、年々国際親善の友交を深めることができた。その後谷口恒郎ライオン（1974~75）より、韓国民の広島市に出向労働中、原爆被災した方々への福祉救災資金として309-D地区へ100万円（日本円）が贈られ、

爾後数年に亘って歴代ライオン（C.A.B）が継承され、当時、国が取り上げ得なかった韓国民に対する、原爆被災者対策をライオンズとして取り組んで頂けたことは韓国ライオンズ、並びに、同国民にも多大の共感を呼び起し、日韓親善の実を上げることができたものと今もって歴代ライオン（C.A.B）に敬意と感謝の心をもつづけている。

現在、国が取り上げている国策の中に、“緑こそ吾らが命!!”の緑化運動と、東洋及び東南アジア友交促進運動があることを思う時、吾らライオンズが先鞭を切ったことの喜びと誇りを禁じ得ぬものがある。これも当時1万余名の会員の皆さんのご協力の賜であり、誠にご同慶の至りである。

本編の14行目以降は、一ライオンの昔話し、自慢話としてお笑い頂ければ幸である。

本期、地区ガバナー秋場 寛ライオンが実施される、千葉県下、高校生を対象とした懸賞論文募集事業は、刹那主義的の世相に警鐘を乱打し、真に静かに考える、思考する青少年を育てるにふさわしいライオンズのACTとして敬意を表したい。また、昭和60年は国際青年の年I.Y.Yでもある。

一つの提言として、今後は、“国の環太平洋諸国間の経済交流（同盟）政策の推進と、同圏内の青少年の交流の助長”が日本ライオンズの重点的に指向るべき一つの柱となるのではないだろうか？一ライオンの発想として提言したい。



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

ライオネスクラブ合同例会

333-C地区第5リジョン ライオネスクラブ合同例会



「ただ今より333-C地区第5リジョンライオネスクラブ合同例会を……」袖ヶ浦LNC木場美智子LS、にこやかな司会につづいて、木更津金鈴LNC会長佐久間美智代LSの開会宣言、開会ゴングで始まった第5リジョン内4クラブのメンバーが一堂に集まる、始めての合同例会が、地区ガバナーL秋場寛ご夫妻、並びに開催地袖ヶ浦町長、助役、教育長それにリジョン内8ライオンズクラブの三役、ネス連絡担当役員をお迎えして1月18日、袖ヶ浦町民会館で盛大に行われた。

当日は、快晴に恵まれ例会場は、ネスクラブ独特の華やいだ光景と優雅な雰囲気の中で、プログラムが流れるように進んで行く、国歌につづいてのライオンズヒムで3番の「戦の魔手より國を守る……」が唄われるのが気にかかる。

袖ヶ浦LNC会長柴崎和子LSの堂々たるあいさつ、加えて各クラブ幹事の折目正しい現況報告は、キビキビした中にも女性ならではの程よい調和感を生み、各クラブそれぞれが、ライオネスクラブの目的である「ライオンズクラブの行う奉仕活動に協力する」ことを旨とした素晴らしい奉仕の数々は、決して派手なものではないがいたわりの奉仕、真心の奉仕であることを持てしめに報告する姿に、町長をはじめ来賓も感謝の気持いっぱいでのうなづいていた。

つづいて、秋場ガバナーの父親にも似た、やさしい眼差しでの挨拶、そしてライオネス委員長L御園生隆のほほえみを浮かべての挨拶、5リジョンDDG L桐谷岩次のやや上り気味ではあったが激励と感謝の言葉

第5R・PR情報委員

L 曽我浅治郎



があった。

このあとベトナムやラオスの難民救済に愛の手を差し延べ、我が子同様に生活を共にしてボランティア活動をしておられる「野の花の家」花崎みさお先生の講演があり、子供達の今まで歩んだ道、現在おかれた環境を聞いて目頭を押さえるガバナー夫人、目に涙を光らせるLも多く見られた。

知られない所で、異った手段によっての奉仕活動が、われわれの身近で懸命に行われているのに気付き感激もひとしおであった。

最後に、君津LNC会長松本衣子LSの力強い言葉で意義深かった合同例会の終りを告げた。

懇親会も楽しさいっぱいでのど自慢・芸自慢が続々中でもガバナー夫人政枝様の洗練された舞と、琴の音の旋律が会場をうっとりさせ、素晴らしいの一語につきた。

最後にドネーションで集った金(50,183円)は「野の花の家」に贈るなど、懇いばかりの演出で幕をとじた。



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

アイバンク設立に向って 早くも献眼を



松戸中央ライオンズクラブでは、12月2日、本年度333-C地区の最大の奉仕事業である千葉県アイバンク協会設立に伴う角膜提供者の登録に重点をおき、献血と一緒に街頭者に呼びかけ協力を求めたところ、12月現在19名の登録があり、12月26日、登録者カードを順天堂病院に送付した。

◀街頭で献眼・献血を呼びかける
松戸中央LC ライオン

アイバンク協会 設立へ向けて

東庄LC

L 青野虎二

前々年から国際会長は声を大にして糖尿病予防について叫びつづけているのであるが一方巷に於ても一種の文明病だと云われつつ予防に努力しつつも成果は挙っていないのではないか。私のよく知っている友人が町の糖尿病教室に何人も新しく入会して来つつある現状だ。糖尿病が何故恐しいかそれは軽て失明の悲劇に追われてしまうからです。美味しいものを腹一杯食べたい、それは生きている者誰でも持っている欲望であるけれども過剰な栄養はどんな

に恐い事か医療統計だけでなく世間一般の統計が如実にこれを物語っているのである。食文明の向上は様々な障害となって来つつある。糖尿病が原因とは限らない一般の失明者、特に中年にして此の危に遇到了る者の困難は筆舌に尽しがたいものがある。角膜提供によってこの人達が救えるならばより一層の理解を以て献眼の登録をして頂きたいのである。死せば24時間後には火葬場に送られ此の貴重な角膜は一片の煙と化し何の役にもたたず只空へ、そして少量の骨は土に返って行く、諸行無常を考える前に誰でも此の角膜を世の盲人諸君に捧げて貰いたいと考える。

本年地区秋場ガバナーは地区ニュース2号に「財団法人千葉県アイバンク設立趣意書」を掲載されているのであるが、これを二度読んで貰いたいのである。

千葉県にはアイバンク、眼の銀行がないのである。これをあえて慎重考慮、何とかして県下全ライオンズクラブの手によって実現したいと國・県に働きかけ、この具体化に向け旗を振ることとしたと云う。特別基金数千万円を準備することは苦しいであろうが何をさて置いてもこれが設立は極めて大切であり此の意義ある事業目的が達成される事と一人一人のライオンが協力される事を念願しているものである。「部分は全体なり」一人一人が頑張りましょう。



奉社の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

アクティビティス

クリスマスに大久保学園慰問 (精神薄弱者更生施設)

船橋 LC 幹事 L 萩 原 巍

去る22日、会長はじめ福祉委員会のメンバー7人でサンタクロースよろしく、大久保学園を訪問した。

秋の梨狩の折、約束したクリスマスに学園訪問が今回実現したのであります。

菓子の詰め合わせやメンバーからの提供品を持って会場に入ると、キャンドルサービスで迎えてくれ、園生達は大喜び、我れわれも早速パーティーの仲間に入り、この日の為に何回となくリハーサルを重ねた合奏や寸劇で答えてくれた。

どの園生も真剣の中にも喜びが溢れていて、メンバーの感激もひとしおであった。

いつも乍ら感ずることだが、この子らからわれわれが学ぶことも大である。帰りながら園生達が、健やか

に明るい新春を迎えてほしいものと折りながら学園を後にした。



▲ 障害児を招待してボーリング大会

松戸 LC



▼ 老人を招いてゲートボール大会

成東 LC



サーキット出発だ

覚せい剤防止キャンペーン

一宮 LC

アクティビティス



▲ 寒さ身にしみる 九十九里海岸の清掃
九十九里 LC



32チームが参加 歳末チャリティーゲートボール大会

旭ライオンズクラブ ▶

当クラブ主催の旭市・海上町合同歳末チャリティーゲートボール大会（12月5日）が旭市、市営球場に於いて、両地区合わせて64チームあるゲートボールチームの中から、予選を通過した32チーム選手224人が参加しリーグ戦が行われた。

会場には、LC メンバーは勿論、予選で負けたチームの方や一般市民も応援に駆けつけ、初の大会とは思えぬほど盛大であった。

早朝8時30分、黒須会長の始球式で試合が始まり、熱戦8時間にも及び、決勝戦は薄暮の中で行われた。



終了後、優勝チーム、入賞チームには、トロフィ・楯・賞状と、金・銀・銅の特大メタルが各自に渡され、また、参加者全員に野球帽とタオル2枚が贈られた。



図書をプレゼント

松戸ライオンズクラブ

青少年の健全育成奉仕活動の一環として、松戸ライオンズクラブでは、市内の全中学校に漢和辞典・世界史事典など図書166冊（28万円相当）を寄贈、渡辺会長ら代表4人が市教委を訪れ、同市教育長に目録を手渡した。

各学校では、思わぬ（クリスマス？）プレゼントに大喜びで、配布を待ちかねている。



奉仕の真にこだすよう

愛の心で価値ある奉仕

日伯友好文化交流

山田町ライオンズクラブ ▶

12月3日、山田町中学校に在日留学生ブラジル2世小野寺素之君を招き、生徒及び父母と懇談し、在伯日本人の教育、生活、文化等について語り合い、生徒、父母共々深く感銘した。

また、第2次日伯友好文化交流事業として、会員、町内小学生から書道、絵画、図書を募り、ブラジル日本人学校宛に贈った。



多古ライオンズ旗争奪中学校駅伝

過去最高35校が熱戦



第25回多古高陸友会杯・多古ライオンズクラブ優勝旗争奪「中学校駅伝大会」は1月27日、県立多古高校をスタートして栗源町役場を折り返す6区間、20.4kmのコースで行われた。この結果、昨年3位の大栄が底力を発揮して優勝、3連覇を目指した志津は2位に。また、地元の多古は念願の3位に見事入賞した。今大会には香取、匝瑳、印旛、山武の各郡市から過去最高の35校が出場、盛りあがりをみせた。

新春の北総路を走る駅伝は午前11時、号砲を合図に各校の第一走者が多古高前を一斉に飛び出した。一区は上志津、富里、千代田、九十九里、大栄、多古、佐倉、銚子一、小見川、志津、四街道がほとんど並び二区に中継。間もなく大栄、佐倉が早くもトップ争いと

なり、志津、多古、上志津が第二集団をつくった。

三区に入ると大栄が独走をみせ、多古、志津、佐倉が追いつ追われつ。四区でも大栄はトップでたすきを渡したが、2キロほど走ったところで佐倉、銚子一、小見川が大栄の走者をとらえ、五区では佐倉、志津が一時、優位に立った。

しかし、最終区間の6区では再び大栄が底力をを見せ、志津、銚子一、小見川、多古、佐倉が白熱したデッドヒートを展開した。レースには町の広報車が「多古が頑張っています。声援をお願いします」と沿道のファンに呼びかけた。

結局、平均した力をもった大栄がそのまま逃げ切って優勝し、志津は2位と涙をのんだ。

“それいけ”頑張れ！

1/27(日)過去最高の参加者に苦労もふっ飛ぶ多古LCのメンバー



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

少年・少女 発明クラブに 研究製作活動資金 (機械購入費)を贈る

旭ライオンズクラブ▶



2年程前、旧旭成年の家跡を利用して少年少女発明クラブが誕生しボランティアの人々の指導、で子供達が大変熱心に創作活動に励んでおり、発足時よりライオンズクラブ内の有志が発起人になり、数十名が自発的に金銭等の支援をしていたものを、今期より旭ライオンズクラブの継続事業として後援する事に決定しました。

1月6日、会長、第一副会長、幹事3人で発明クラブを訪問して……頭の中に浮んだアイデアを設計図に書き、機械等を巧く使って懸命に創作に励んでいる子供達の姿を見学し、指導に当っている発明クラブ育成会の会長に、金50万円を贈りました。

(今月、全国発明展に於て、此のクラブ育成会は特賞を獲得致しました)

1/27(日) 東床町青年駅伝大会開会式に
選手激励の挨拶をする

東庄L C会長 吉田 稔L





奉仕の声にこだえよう

愛の心で価値ある奉仕

呼びかけ



000
001
002
003
004
005
006
007
008
009
010
011
012
013
014
015
016
017
018
019
020
021
022
023
024
025
026
027
028
029
030
031
032
033
034
035
036
037
038
039
040
041
042
043
044
045
046
047
048
049
050
051
052
053
054
055
056
057
058
059
060
061
062
063
064
065
066
067
068
069
070
071
072
073
074
075
076
077
078
079
080
081
082
083
084
085
086
087
088
089
090
091
092
093
094
095
096
097
098
099
100



アイバンクへ25万円を寄贈

印西ライオンズクラブでは、12月4日、船橋カントリークラブで千葉県のアイバンク設立に協力のチャリティーゴルフが開かれた。

大会には町民200人が参加、1人1,000円の寄付を求め、さらに大会後のパーティー会場に募金箱を置き協力を呼びかけ、純益25万円を当日出席の秋場ガバナーに贈られた。



◀献血会場でアイバンク設立を
呼びかける
印西ライオンズクラブ



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

アイバンク講演会

船橋東ライオンズクラブ

秋場ガバナーの掲げたアイバンク推進運動に協力継承すべく当クラブでは、1月22日会員に理解を深めてもらう為、「角膜移植とアイバンクの必要性」と題して講演会を開催しました。

順天堂大学助教授田中 稔先生をお招きしての講演例会は、キャビネット幹事L吉野、2リジョンD.D.G L林、ゾーンチャーマンL森はじめリジョン内各クラブにも呼びかけ、プラザークラブ並びにライオネスクラブメンバーも多数参加し、スライドによる説明や現状等を聞き入る情景は、物音ひとつしない緊張感が



あり、質疑応答も時間が足りない位に活発で、アイバンクについての関心の深さを示した。

最後に、D.D.G L林より1人でも多くの人に登録して頂き、アイバンク基金設立に対する理解と協力を求めた。

大寒中の冷え込む晩ではあったが、90名近いメンバーをお迎えしてのアイバンク講演会は成功したと自負している。



▲ 田中先生による講演
◆ 熱心に聞き入る参加者

合同アクト特別委員会報告

キャビネット

幹事 L 吉野 正三

2月2日、合同アクト特別委員会が開催され、本年度最大の奉仕事業である千葉県アイバンク協会設立について協議された。

秋場ガバナーから、協会設立について、各関係機関との折衝、その対策等、現況についての詳しい説明と、各クラブにおける現在までの協力について報告があって、各委員会からも設立期限、基金作り等でいろいろ

意見、質問があった。

設立については、年度内を目標に準備を進める。金としては、参千万円の内、キャビネットに於いて、対外募金として壱千式、参百万円の目途が立てられるので、残り壱千七、八百万円を77クラブに於いて、チャリティー事業、P R事業等を計画実施により協力することになりました。

すでに、2Rにおいては、ボールペン販布により募金の方法を採用しておりますが、地区に於いても基金補完の意味で、ボールペンを一本100円でお買い上げ又は、販売をお願いすることで、333-C地区全体で5万本程度の消化を考えております。

以上2点のアクトについて、各位の特段の御配意の程懇願申し上げます。



奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

ライオンズサンタ 各地に現わる*



園児と楽しいクリスマスパーティー

◀船橋東ライオンズクラブ



テーブル一ぱいの贈り物を前に
舌づつみ

▼流山ライオンズクラブ



▲ アレッ、サンタさんが3人も居る！

習志野ライオンズクラブ



“早くぼくのところに来ないかな”

◀東金ライオンズクラブ



楽しいボーリング大会に
サンタも仲間入り
松戸ライオンズクラブ▶





奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

1月26日、千葉県文化会館で、県内20校の代表38人が参加して開かれた。会場には、秋場ガバナー、吉野キャビネット幹事。御園生大会実行委員長、各クラブの関係ライオン多数が出席されていた。

県立下総高等学校2年大竹孝雄君の「ふれあい牧場にかける夢そして今」を演題とした力強い論詞で始まり、制限時間（7分30秒）内に、日頃彼等が考え、見たり体験したことを基に、人々と訴える言葉の中には、校内暴力、非行、いじめ、自殺など、手のほどこしようがないほど病んでいる現代を憂い、汚濁に満ちた大人社会と人間性が損なわれて行くことに対する鋭い警告とも思われるものが多くあった。日頃、青少年健全育成をACTとして考え、奉仕活動をしているわれわれにとって、大いに勉強させられ反省することもあった。

このような考えを持っている青少年が多くなれば、今のような社会現象はぐんと減るのではないかと思う。

編集委員 L 高 見 利 信

“彼らは何を訴えたか”

第4回千葉県高等学校弁論大会





奉仕の声にこたえよう

愛の心で価値ある奉仕

第4R テールツイスター(TT)研修会

第4R PR情報委員

L 林 寛 肇

本年度第4リジョン DDG 石毛文行Lの行事予定の一つである「TT研修会」が当初12月8日開催の予定でしたが、前ガバナー石橋 光Lの葬儀と重なった関係で、16日午後1時より講師として前キャビネット幹事池沢 稔Lを迎えて、リジョン内12クラブの三役、正副TT、及びリジョン役員合計66名が参加して盛大に開催されました。当初 DDGとしては新入会員研修会も開催する予定でしたが、日程の都合がつかず今回は TT研修会1本に絞った訳であります。

御存知の様に TTは、例会を有意義に興味あるものにする為に位置づけされたライオンズクラブ独自の役職であると思いますが「必携」には「適切な余興や

ゲームを行い、会員にファイン」を上手に課すことによって会合の調和、友好、活気を促進する」と定義されておりますが、実行する段階では色々大変な事で、各TT共困っているのが実情であります。現在、他クラブがどうやっているのか、参考にしたいと云う要望から実施された訳であります。池沢講師の「TTは例会の盛り立て役に徹せよ、TTを選ぶ場合には適格者を選ぶ事」等の講義の後12クラブのTTより体験・反省・抱負等の発表があり、講師の「まとめ」の講評があり、有意義であった研修会を終了した訳であります。各クラブのTT並に計画委員の活躍には唯々頭の下る思いで一杯でした。此の研修会が今後の例会運営に活かされ、此のような研修会が数多く開催される事を希望するものであります。



あめでとう

若獅子(坂本L)初の二世 東庄ライオンズクラブ 元旦に誕生

平均年令55才の東庄LCには、30代の若獅子2人が若変りを計るクラブの中核として頑張って居るが、その一人L坂本 譲(39才)に待ちに待った初の二世(男子)が、元旦の朝に誕生すると云う二重三重の慶事に当人は勿論、クラブも吉兆として大喜び、孫の誕生祝いのドネイションは何回も経験して居るが、子供の誕生祝いのドネイションは初体験、しかも新米パパさんのドネイション、しかも2桁のスーパービッグドネイションにメンバー目を白黒…、333C地区のギネス・ブックものの声しきり

因に彼は結婚12年目の金的である。





青少年212人が戦う

第4回・新春武道大会

富津ライオンズクラブ

青少年健全育成事業の一環として、4年前から始めた富津市青少年新春武道大会が1月20日、富津中体育館で市内の小・中学校及び武道団体から男女212名が参加し剣道・柔道・空手の部門において熱戦が行われた。

当日は、会長をはじめメンバー全員が大会役員として出席、大会の運営に協力した。

試合終了後、閉会式を行い、それぞれの入賞者に森田久会長から賞状と賞品が贈られた。



お詫び

地区ニュース3号の前幹事池澤稔の記事（前地区ガバナー石橋光ライオンを偲ぶ）の文章において組版の大きな間違いがあったことを深くお詫び申し上げます。

※訂正 6ページ前段20行が巻頭言で、5ページの文章がこれに続きます。

地区ニュース編集委員

物故会員

松戸中央LC 故L.丹 幸一
59. 12. 4 没
千葉エコーLC 故L.大津 昌彦
59. 12. 24 没

第31回年次大会

県都、県北をはなれ、はじめての地方開催とて委員会はとまどい、苦慮しつつ準備を進めていますが、間もなく登録受付の開始です。

大勢のメンバーの登録、ご参加をお待ち致します。

期 日 昭和60年5月3日
場 所 茂原市 市民会館

PR情報委員長：安川恵司、 PR情報委員：菊池正一、桜井一正、吉川佳彦、林 寛躬
曾我浅治郎、河名 廣、井原千春、 地区ニュース編集委員：鎌田雅郎 高見利信